

## ◆活動状況(平時・災害時及びその他の取り組み)

高山村消防団は、団員定数117名、4個の分団及びラップ手から構成され、全9台の消防自動車を配備し、「自分達の地域は自分達で守る」という強い信念を持ち、村民の生命、身体、財産、安心安全を守れるよう日夜活動しています。

有事の際、全分団が出動することとなっていますが、高山村は大きく二つの地区に分かれており、中山地区を第1分団と第2分団、尻高地区を第3分団が管轄としています。

村全体を管轄としている役場分団には、人手が不足する平日の日中に火災等が起きた場合迅速に対応できるようCAFS装置付消防ポンプ自動車を配備しています。

毎年10月には、消防ポンプ性能検査、各訓練を行ったのち、秋季点検を開催し火災が起きやすい季節へ対応できるよう態勢を整えています。

また、年間を通して予防消防にも力を入れ、大規模火災を想定した全体訓練や、各分団で山火事防止パトロール、火防廻り(各家庭へ巡検・水利点検等)、村内各地区の方々と合同で消火栓の使用訓練などを行っています。

雇用形態の変化や少子高齢化の影響により、今後団員確保が困難な状況が見込まれることから、村や村議会の理解の下、団員の処遇改善や女性消防団員の必要性について取り組みを行い、団員が活動しやすい環境を目指すとともに、消防団を維持するための活動を行っています。

また、コロナ禍における出動態勢を徹底し、常時出動できるよう組織の強化を図っています。



秋季点検



消防ポンプ性能検査